

平成30年度

## 委員会 研究ならび事業報告

部・委員会名	委員長	上松 一成 (松川中央小)
	副委員長	登内 淳 (龍江小)
算数・数学科	会計	伊藤 雄太 (鼎中)
		飯沼 秀幸 (高森南小)
(委員数 8名)	記録	片原 範子 (阿南二中)

研究テーマ	子ども同士がかかわり自分たちで解決し数学的思考力を高めていく授業
研究内容 (箇条書き)	<p>以下の3点について、個の変化、集団の変化、教師の意識の変化から、授業をみつめて研究をすすめた</p> <p>①「学び合い高め合い」が成立する課題の設定                  ②「学び合い高め合い」が成立している時の子ども同士のかかわり方や教師の支援                  ③学習を深める振り返りの工夫(評価)</p>
成果と課題 (箇条書き)	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちで学習問題・学習課題をつくっていくことで、より追究意欲が高まる。</li> <li>・課題把握の段階において数分の情報交換の時間を設けることで追究の見通しが持て、有効な場合がある</li> <li>・参観した「学び合い高め合い」の授業では、子どもに問い返ししながら、課題を焦点化したり、追究場面では、教師はできるだけでないように子どもの追究を見守ったりする教師の支援の仕方が参考になった。</li> <li>・「学び合い高め合い」の授業では、関心意欲が高まり、その授業が好きになることと関連があることが質問紙の調査でわかった。</li> <li>・振り返りを記述したり、全員で確認したりすることで、学習が自分のものになっていくことが確認できた。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学び合い高め合い」の授業での有効な課題設定</li> <li>・「学び合い高め合い」の授業での教師の出(授業構想、友とのかかわらせ方、議論の焦点化)</li> <li>・「学び合い高め合い」の授業での学習の意識付け(評価)</li> </ul>
公開授業	<p>①7月6日(木) 高森南小学校 5年1組 授業者 飯沼 秀幸 教諭</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者 信州大学 非常勤講師 湯澤 正農夫 先生</li> <li>・単元名 「同じものに目をつけて」</li> <li>・参観者5名</li> </ul> <p>②10月10日(火) 阿南第二中学校 1年 授業者 片原 範子 教諭</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者 信州大学 非常勤講師 湯澤 正農夫 先生</li> <li>・単元名 「方程式の利用」</li> <li>・参観者16名</li> </ul>
他 諸活動 研修会 講演会 冊子作成 など	<p>○10月27日(金) 小中高算数・数学連絡会の実施 会場 鼎中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者 教学指導課 指導主事 小山田 佳代 先生</li> <li>・公開授業 2年 単元名「図形の調べ方」 授業者 伊藤 雄太 教諭</li> <li>・研究協議 授業研究会 情報交換会</li> <li>・参加者18名</li> </ul> <p>○教育課程研究協議会午後の研究協議の運営(教育課程運営委員として)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月7日(木) 飯田東中学校</li> <li>・10月20日(金) 追手町小学校</li> </ul>